

気候危機と私たちにできること ①

新日本婦人の会大田支部

気候危機って？

異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇など地球温暖化による気候変動が世界的に大きな問題となっています。このままいけば、住むことのできない地球になる可能性が警告され、気候変動にとどまらない気候危機の状況になっています。

気候災害による被害、経済的損失も拡大

気候リスクランキング
2018年は日本が1位

死者数 1281人 被害総額 約4兆円
2位 フィリピン 3位 ドイツ

どうしてこうなってしまったのか

ノーベル物理学賞 **真鍋淑郎さんの研究**

大気中のCO₂濃度が2倍になると、地球の平均温度が2.3℃上昇する (1967年)

気候温暖化を解明、真鍋さんが開発した気候システムが今、世界中で活用され発展している

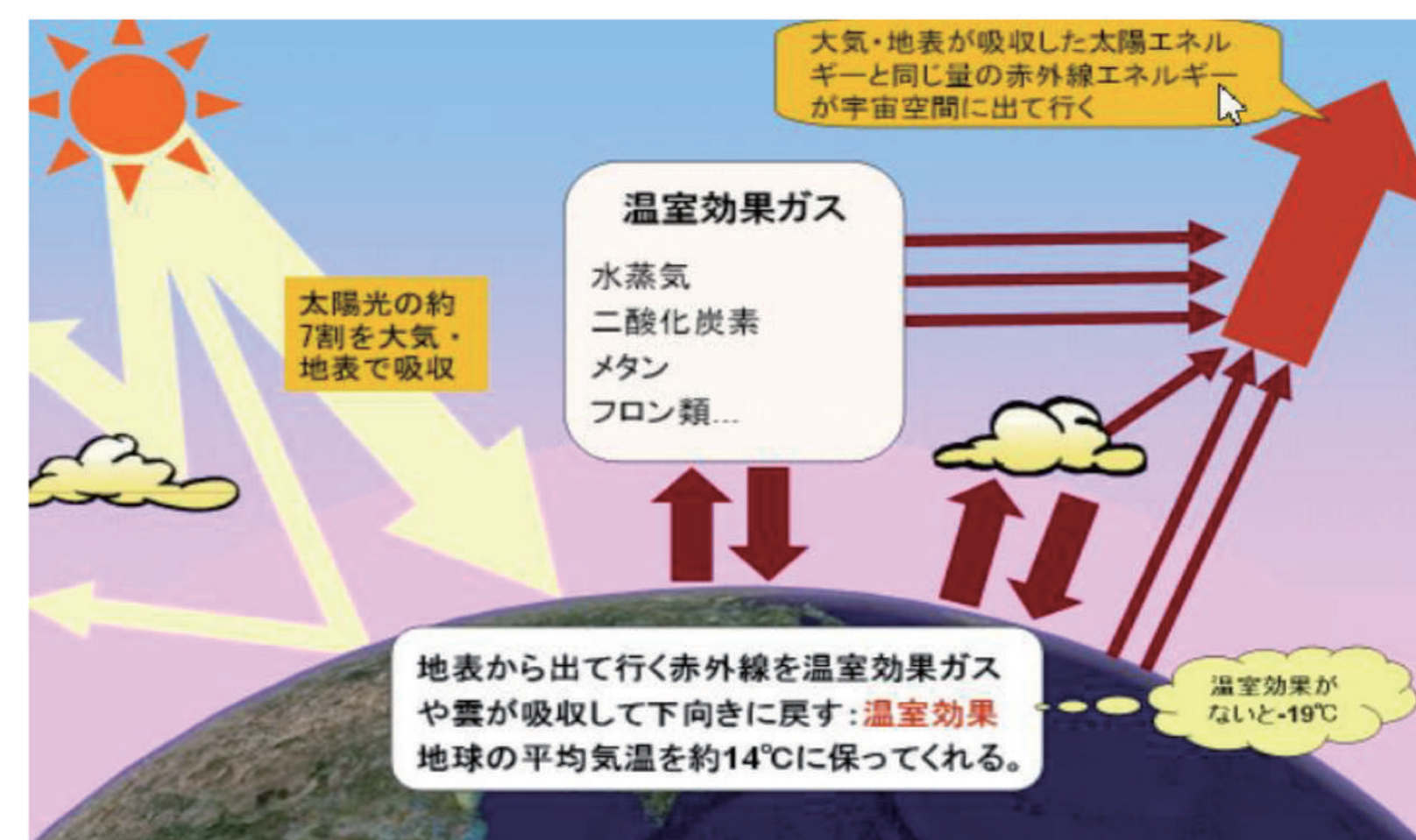
対策をとらないと

気候危機で直面する8つの主要なリスク

- ① 海面上昇、沿岸での高潮被害
- ② 大都市部への洪水による被害
- ③ 極端な気象現象によるインフラ等の機能停止
- ④ 熱波による、特に都市部の脆弱な層における死亡や疾病
- ⑤ 気温上昇、干ばつ等による食料安全保障への脅威
- ⑥ 水資源不足と農業生産減少による農村部の生計および所得損失
- ⑦ 沿岸海域における生計に重要な海洋生態系の損失
- ⑧ 陸域および内水生態系がもたらすサービスの損失

〈国立環境研究所・地球システム領域副領域長 江守正多さん〉

地球温暖化の仕組み



気象庁HPから

温室効果ガス

日本の場合、92%がCO₂

残りはメタン、N₂O、フロン類

2018年7月豪雨 小田川堤防決壊



【IPCC第5次】2013年

地球温暖化が気候変動をもたらしていることは疑う余地がない

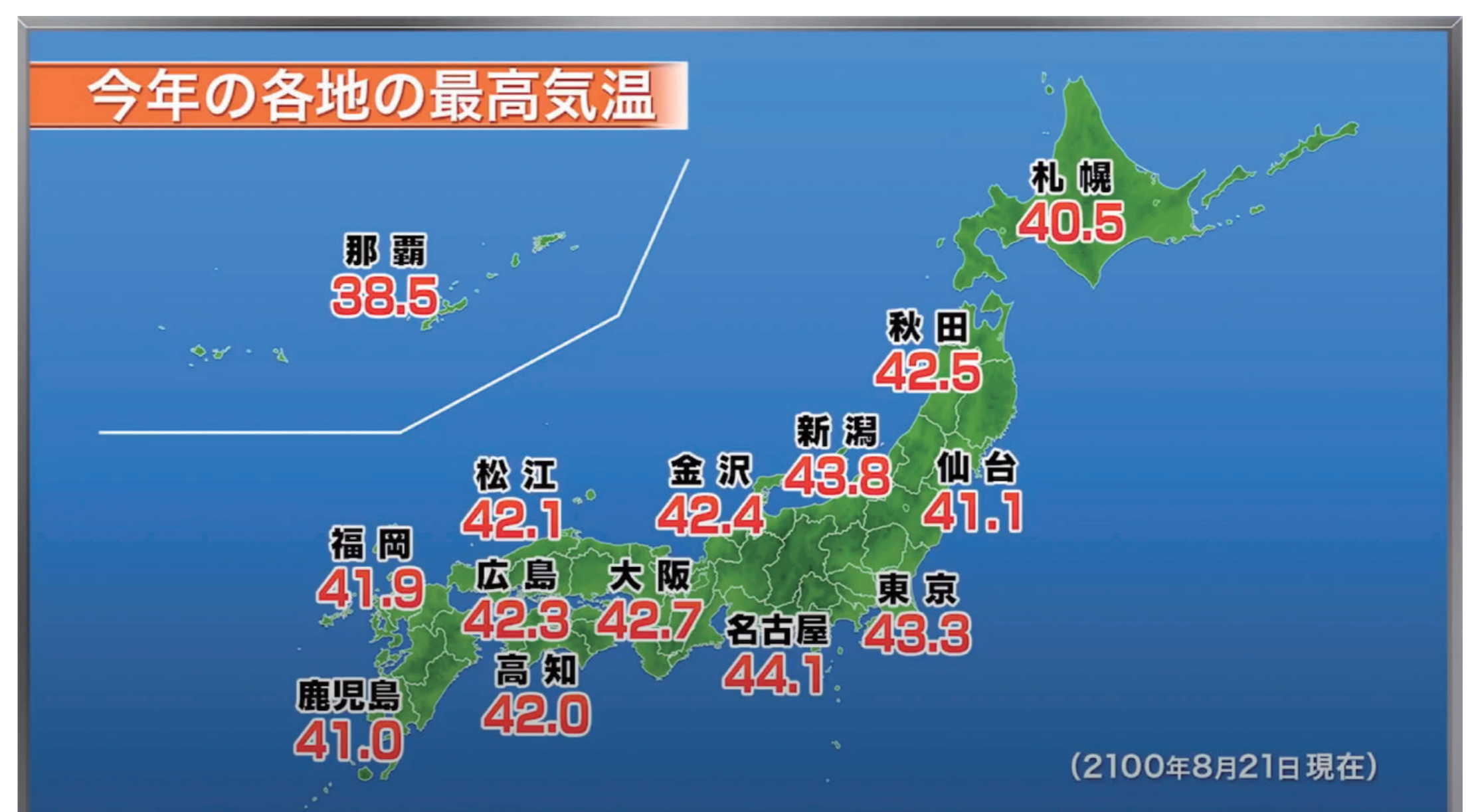
【IPCC第6次】2021年

人間活動が気候変動をもたらしていることは疑う余地がない

※IPCC・・・国連気候変動に関する政府間パネル

2100年未来の天気予報

〈対策未達成・夏〉



環境省「2100年未来の天気予報」

気候危機と私たちにできること ②

新日本婦人の会大田支部

どうすれば、危機を回避できる？

◆CO₂排出量を抑えること

2015 COP21 パリ協定
産業革命時より気温上昇を1.5℃にとどめること 実質ゼロへ
2021 COP26 グラスゴー気候合意
この10年間で決定的に重要
石炭火力の削減を特別に記載

【日本では】

石炭削減目標は、2030年 19%
脱石炭目標は、2050年
石炭火力発電所の新設、輸出もすすめている

◆再生エネルギーへの転換を

日本の再生エネルギーの潜在量は、現在の国内電力需要の5倍もある
発電低コスト順 1、太陽光 2、風力
石炭火力…太陽光の3倍 原発…太陽光の4倍のコストがかかる

◆省エネをすすめる

消費する電力量をおさえるなど

省エネ/再エネ できること

◆どんなエネルギーを使う？

◆どんな家に住む？

◆どうやって移動する？

◆何を食べる？

新熱が充分でない家 (室温20℃、表面温度10℃の場合) 体感温度15℃

しっかり断熱された家 (室温20℃、表面温度18℃の場合) 体感温度19℃

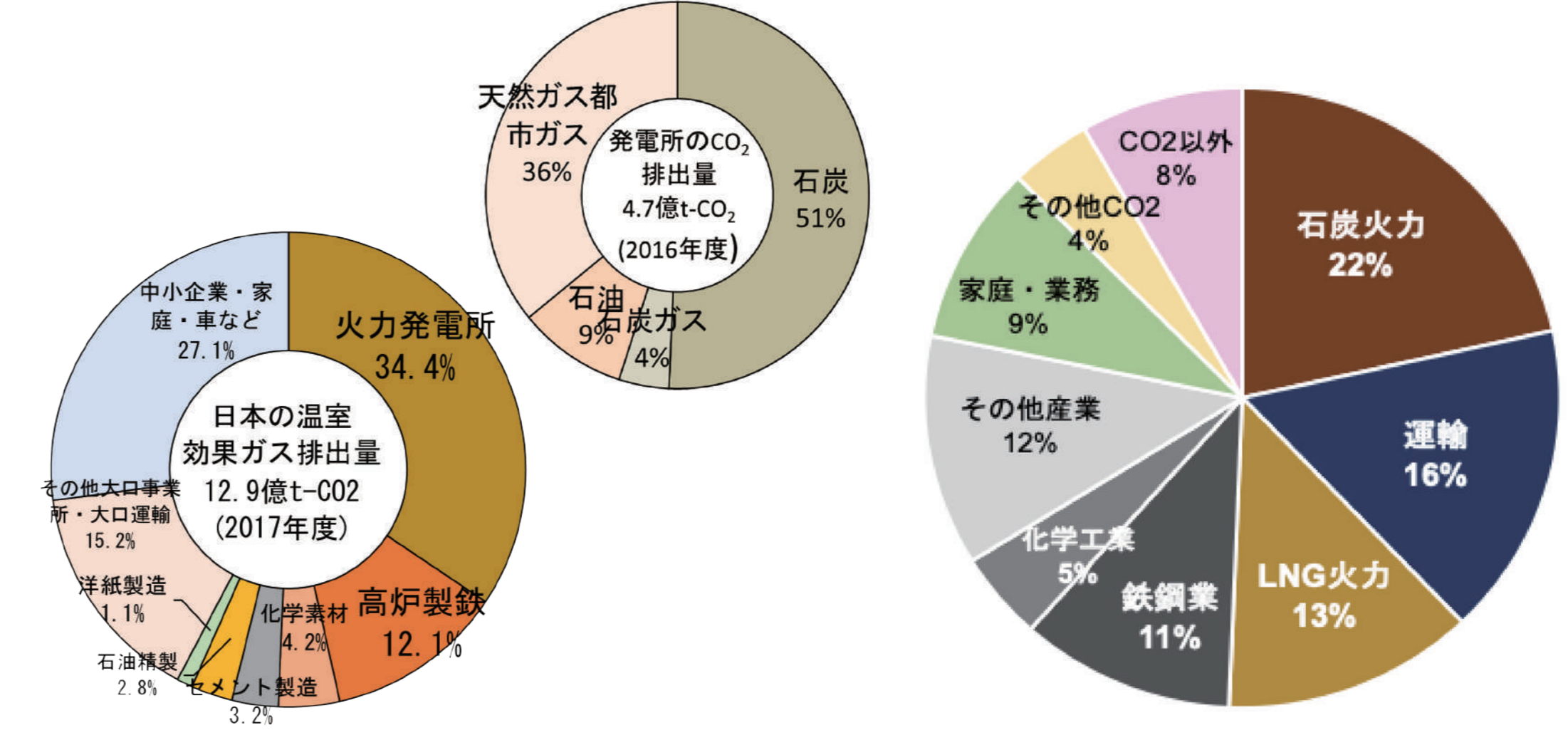
各国の石炭削減目標 (年)

石炭ゼロを達成		脱石炭	
ベルギー	2016	スペイン	2025
スウェーデン	2020	フィンランド	2029
オーストリア	2020	オランダ	2029
脱石炭		ニュージーランド	2030
フランス	2021	カナダ	2030
ポルトガル	2021	デンマーク	2030
イギリス	2023	ドイツ	2030
イタリア	2025	アメリカ	2035 電力部門

再生エネルギーの比率(%)

	2030年目標	2020年
日本	36~38	22
ドイツ	65	48
スペイン	74	44
アメリカ カリフォルニア州	60	53 (2019年)
中国	35	29

現在の日本の温室効果ガス排出源と内訳



まとめ

気候危機を回避するには、生活の中での努力だけではとても追いつかないことがわかりました。気候ネットワーク代表浅岡美恵さんを招いての学習会で、「私たちが声をあげること」だと強調されました。グレタさんを始め若い人たちが世界中で行動しています。できることから手がけながら、国や自治体、企業にも働きかけて、日本中のみんなの力で持続可能な地球を取りかえして未来の人々へ手渡ししましょう。

私たちが将来経験する気候は、私たちの今の決定と行動にかかるとグレート・トゥーンベリ

